

ゆ り きみ まさ



福井に 由利公正 あり



- 五箇条の御誓文の草案を起草
- 廃藩置県（明治4年）後 初代東京府知事
東京不燃化計画を作成し、銀座大通りを拡幅
現在の銀座の街並みの原型を作りました

※由利公正は福井県が生んだ幕末維新の偉人です。

福井は幕末維新期の偉人を主人公とした大河ドラマ誘致を目指しています

※facebookやtwitterでの情報発信をお願いします。

由利公正

(1829~1909)

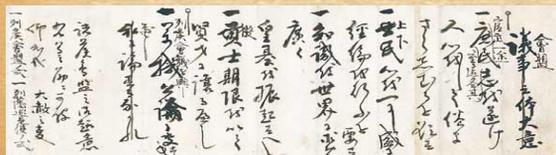


【略歴】

生没：文政12年（1829）～明治42年（1909）幕末の福井藩士。明治維新まで三岡八郎を名乗る。

- ・文政12年（1829）福井城下毛矢に生まれる。
- ・福井に来遊した横井小楠の学問に影響を受け、藩財政を研究。殖産興業策を進め、藩財政を黒字化した。
- ・慶応3年（1867）、坂本龍馬が八郎のもとを訪れ、新政府への参画を要請、新政府の参与となり財政を担当。
- ・慶応4年（1868）「議事之体大意」を著し、後の「五箇条の御誓文」の原型となる。
- ・明治4年（1871）には廃藩置県後初代東京府知事となり、翌年、岩倉欧米視察団に随行。
- ・その後元老院議員、貴族院議員を務める。
- ・満79歳で没。

- ①「五箇条の御誓文」の草案を起草
- ②我が国最初の全国通用紙幣である「太政官札」を発行
- ③新たな産業や資本主義の育成により、国家の近代化や国富を推進する「殖産興業政策」を推進
- ④府知事任命後に発生した大火を受け、銀座大通りの拡幅や不燃性の煉瓦建築等、「東京不燃化計画」を策定・実行
- ⑤板垣退助らと「民撰議院設立建白書」を提出し、政府に対して国民選出議員による議会開設を要望



議事之体大意
（「五箇条の御誓文」の原案）



太政官札



煉瓦銀座之碑
（銀座一丁目交番）

